

本年度、豊明市立栄中学校から赴任いたしました、校長の岡山真崇と申します。どうぞよろしくお願ひします。

保護者の皆様にも、生徒の皆さんにも直接お話しする機会がありませんので、WEB上で大変恐縮ではありますが、ご挨拶申し上げます。

入学式では、新1年生と保護者の皆様に、大切にしてほしいことを3つお話ししました。

入学式後の始業式で、全生徒の皆さんに向けてお話ししようと準備していた原稿を、以下に載せますので、各自で考える材料としてください。

また、保護者の皆様には、大変ご不自由な生活を送ることとなり、ご苦勞をお察しいたします。本校におきましても学校再開に向けての準備と、学校休業中に学校ができることを模索して、学校と家庭・生徒がつながっていきけるような手立てを考えていきたいと思ひます。その方法の一つとして、WEB上に学校からのメッセージや連絡を上げていくことに取り組んで参ります。

生徒の皆さんにも、先生からの追加の課題や、メッセージが配信されると思ひますので、時々、ホームページを見てください。

職員一同、学校再開に向けて全力で準備して参りますので、どうぞよろしくお願ひします。

以下が、生徒向けに話をしようとして準備していた原稿の一部です。4月7日に話をしようとして準備していた内容ですので、表現がずれている部分もありますが、学校再開されたときの思ひを受け止めてもらえればと思ひます。

---

(前文省略)

皆さん、昨年度2月28日に学校へ登校した時のことを覚えていますか？来週から学校が休業になると伝えられた日です。その時には、どのような事を感じたでしょうか？中には、ちょっと長い春休みになってうれしく感じた人もいるかもしれません。

しかしながら、皆さんに少し考えてもらいたいことがあります。皆さんも、先生たちも、明日が来れば、普通に学校があり、普通に友達に会い、普通に部活ができていたと思っていたはずで、その当たり前が、当たり前ではなくなり、突然できなくなってしまうことを誰が想像できたでしょうか。今日、久しぶりに学校に登校できたことを皆さんはどのように感じていますか？

今後、学校が再開されたときに、皆さんは、どのように日々を過ごしていかなければならないのか？感染症で重苦しい時代の中、中学生に何ができるかを考えてもらいと思ひます。少し時間を設けますので、頭の中で、どんな学校生活を送るか、何ができるか考えてみてください。

さて、どうですか？きっと、学校が休みになっている中、様々な人たちの支えがあって、久しぶりに学校へ登校してきていると思います。登校できたことに対して、又は、支えてくれた方々に対して、感謝の気持ちはありますか？

いつ学校が再開されるのか、今まで通りの学校生活が送れるのか、様々な心配は尽きません。また、日本中の学校で不自由な生活を強いられている人たちがいます。であるならば、これから、あなたたちはどのように学校生活を送らなければならないのだろうか？学校が再開されたとしても、普通に、当たり前のように明日が来るとは限りません。日々の生活を大切にしていかなければならないのは必然と見えてくるはずです。学習、友達との関わり、部活など、当たりまえにできることへの感謝を忘れずに一生懸命に取り組んでもらいたいと思います。

また、あなたたちが、一生懸命に取り組んでいる姿を保護者の方や地域の方々に見せることも、大人を元気付け、社会を明るくする材料になると思います。中学生の元気な挨拶や笑顔は、周りを幸せにする力をもっています。これからの学校生活、日々生活できることに感謝し、元気に一生懸命に取り組むことが求められています。

これからのあなたたちの、学校生活への取り組みを大いに期待しています。頑張ってください。

(以下省略)

---

以上が、始業式で話をしようとしていた内容の一部です。生徒の皆さん、今、あなたたちに求められている行動はどんなことだろうか？学校が再開されたときに、どんな生活をしていかなければならないのだろうか？今、与えられている時間を大切に、学校再開したときのことを自分自身で考えてみてください。

中学生にも、家族や地域にできることはたくさんあると思います。

学校が再開して、皆さんに会える日を楽しみにしています。

保護者の皆様には、今後、学校が再開されたときに、昨年と同様の内容で行事などができないこともあろうかと想像されます。子どもたちの学習面での遅れを鑑みて、行事の精選や組み替えなどを判断して参ります。

どうぞ、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



長久手市立北中学校 校長 岡山 真崇